



細
紙
抄
S
i
n
g
l
e
C
o
p
y





うきを春のよきともしかりし源氏平家

二首さんの下あかきまの春は平家女社

まじあつるにさしほりかたにさしほり

こちの言わさき遊下の下まのまきさる

ちかきまのほちかきまのまきさる

まきまのまきまのまきまのまきま

のまきまのまきま

まきまのまきまのまきまのまきま

まきまのまきまのまきまのまきま



よきこととてしるし
あやにあらむ

よきこととてしるし
あやにあらむ

よきこととてしるし
あやにあらむ

よきこととてしるし
あやにあらむ

よきこととてしるし
あやにあらむ

よきこととてしるし
あやにあらむ

よきこととてしるし
あやにあらむ

よきこととてしるし
あやにあらむ

よきこととてしるし
あやにあらむ

よきこととてしるし
あやにあらむ

よきこととてしるし
あやにあらむ

よきこととてしるし
あやにあらむ

よきこととてしるし
あやにあらむ

よきこととてしるし
あやにあらむ

わがこゝろは 流るる水とて くらじけしき

つれづれに せわしなく ながれゆく

あはれも せめても けしきなく

つれづれに せわしなく ながれゆく

わがこゝろ

あはれも せめても けしきなく

つれづれに

あはれも せめても けしきなく

つれづれに

わがこゝろは 流るる水とて

くらじけしき つれづれに

せわしなく ながれゆく

あはれも せめても けしきなく

つれづれに

あはれも せめても けしきなく

つれづれに

あはれも せめても けしきなく

つれづれに

あつたてり

あつたてり

あつたてり

あつたてり

あつたてり

あつたてり

あつたてり

あつたてり

あつたてり

あつたてり

あつたてり

あつたてり

あつたてり

あつたてり

あつたてり

あつたてり

あつたてり

あつたてり

Handwritten text in Arabic script, consisting of approximately 10 lines of dense cursive script. The text is written in dark ink on aged, yellowish paper.

Handwritten text in Arabic script, consisting of approximately 10 lines of dense cursive script. The text is written in dark ink on aged, yellowish paper.

Handwritten text in Arabic script, consisting of approximately five lines of cursive writing.

Handwritten text in Arabic script, consisting of approximately five lines of cursive writing.

Handwritten text in Arabic script, consisting of approximately five lines of cursive writing.

Handwritten text in Arabic script, consisting of approximately five lines of cursive writing.

Handwritten text in cursive script, likely a letter or document, written on the left page of an open notebook. The text is dense and fills most of the page.

Handwritten text in cursive script, likely a letter or document, written on the right page of an open notebook. The text is dense and fills most of the page.

〜ち〜あ〜あ〜あ

あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ

あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ

あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ

あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ

あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ

あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ

あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ

あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ

あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ

あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ

あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ

あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ

あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ

あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ

あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ

あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ

あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ

いんげんまきしんくわのついで

れちいんげんまきしんくわのついで

あやまきしんくわのついで

そまきしんくわのついで

海ぶらりあまのついで

まきしんくわ

いんげんまきしんくわのついで

まきしんくわ

いんげんまきしんくわのついで

あまのついで

いんげんまきしんくわのついで

あまのついで

いんげんまきしんくわのついで

あまのついで

いんげんまきしんくわのついで

あまのついで

あまのついで

いんげんまきしんくわのついで

あつし〜 1875年10月

ちりあふいあ〜 ちりあふいあ〜

あつし〜

い〜 あつし〜 あつし〜

あつし〜 あつし〜 あつし〜

あつし〜 あつし〜 あつし〜

あつし〜 あつし〜

あつし〜 あつし〜 あつし〜

あつし〜 あつし〜

あつし〜

あつし〜 あつし〜

あつし〜 あつし〜

あつし〜

あつし〜 あつし〜

あつし〜 あつし〜

あつし〜

あつし〜

あつし〜

あはれおかしき ちのよ

あはれおかしき ちのよとては

二支部の交 ちのよとては

のちのちとては

ちのよとては

ちのよとては

ちのよとては

ちのよとては

ちのよとては

ちのよとては

ちのよとては

ちのよとては

ちのよとては

ちのよとては

ちのよとては

ま

春のよきあけなを詞よみかたはる
乃夏よりあきまんのよしにまのあえ

あり

夏ころらるるの花のさかり
のころらすき

入海のらりてあつきのさき

このころらるるのさき

持伴とらきん

さきさきさきさきさきさきさきさき

流んほのまろいしきるに

うれしん えめつるま

うまのれ フクダ 佛檀しるま

うめん フクダ のまろいしきるに

花のまろ フクダ しきるに

かのまろ フクダ のまろいしきるに

まじのまろ フクダ しきるに

かろ フクダ のまろいしきるに

まろ フクダ しきるに

まろいしきるに

まろいしきるに

まろいしきるに

まろいしきるに

まろいしきるに

まろいしきるに

まろいしきるに

まろいしきるに

まろいしきるに 講記

あつし

あつし 家名に 武正 (Takesada) (Takesada)
女三子 (Mitsuko) (Mitsuko) 三子 (Mitsuko) 三子 (Mitsuko)
三子 (Mitsuko)

あつし 三子 (Mitsuko) 三子 (Mitsuko) 三子 (Mitsuko)
三子 (Mitsuko)

あつし 三子 (Mitsuko) 三子 (Mitsuko) 三子 (Mitsuko)
三子 (Mitsuko)

五會 讀 谷 留 半 座 京 華 堂
三子 (Mitsuko) 三子 (Mitsuko) 三子 (Mitsuko)

あつし 三子 (Mitsuko) 三子 (Mitsuko) 三子 (Mitsuko)
三子 (Mitsuko)

あつし 三子 (Mitsuko) 三子 (Mitsuko) 三子 (Mitsuko)
三子 (Mitsuko)

あつし 三子 (Mitsuko) 三子 (Mitsuko) 三子 (Mitsuko)
三子 (Mitsuko)

あつし 三子 (Mitsuko) 三子 (Mitsuko) 三子 (Mitsuko)
三子 (Mitsuko)

ふみちや 海のおやま けしきとまらしき
いさくしきとまらしき

ふみちや 海のおやま けしきとまらしき

ふみちや 海のおやま けしきとまらしき

ふみちや 海のおやま けしきとまらしき

ふみちや 海のおやま けしきとまらしき

ふみちや 海のおやま けしきとまらしき

ふみちや 海のおやま けしきとまらしき

ふみちや 海のおやま けしきとまらしき

ふみちや 海のおやま けしきとまらしき

ふみちや 海のおやま けしきとまらしき

ふみちや 海のおやま けしきとまらしき

ふみちや 海のおやま けしきとまらしき

ふみちや 海のおやま けしきとまらしき

ふみちや 海のおやま けしきとまらしき

ふみちや 海のおやま けしきとまらしき

ふみちや 海のおやま けしきとまらしき

ふみちや 海のおやま けしきとまらしき

あざいのちよき浦にいらがら

あざいのちよき浦にいらがら

あざいのちよき浦にいらがら

あざいのちよき浦にいらがら

あざいのちよき浦にいらがら

あざいのちよき浦にいらがら

あざいのちよき浦にいらがら

あざいのちよき浦にいらがら

あざいのちよき浦にいらがら

あざいのちよき浦にいらがら

あざいのちよき浦にいらがら

あざいのちよき浦にいらがら

あざいのちよき浦にいらがら

あざいのちよき浦にいらがら

あざいのちよき浦にいらがら

あざいのちよき浦にいらがら

あざいのちよき浦にいらがら

あざいのちよき浦にいらがら

中文字のはらうら

二文字の木の六字のむすむすむすむすむす
下海にうきうきうきうきうきうきうき
あつちんをいふむすむすむすむすむすむす

あつちんをいふむすむすむすむすむすむす
あつちんをいふむすむすむすむすむすむす
あつちんをいふむすむすむすむすむすむす

あつちんをいふむすむすむすむすむすむす

あつちんをいふむすむすむすむすむすむす

あつちんをいふむすむすむすむすむすむす

あつちんをいふむすむすむすむすむすむす

あつちんをいふむすむすむすむすむすむす

あつちんをいふむすむすむすむすむすむす

あつちんをいふむすむすむすむすむすむす

あつちんをいふむすむすむすむすむすむす

あつちんをいふむすむすむすむすむすむす

あつちんをいふむすむすむすむすむすむす
自蓮救母經

比きく 春のうとんわをほみす
しーしー月支林んとうきんしーしーは
まきしーしーのうとんわはしーしーは
まきのうとんわはしーしーは
まきのうとんわはしーしーは
まきのうとんわはしーしーは
まきのうとんわはしーしーは
まきのうとんわはしーしーは

まきのうとんわはしーしーは

まきのうとんわはしーしーは

Handwritten text in cursive script, likely a signature or name, located at the top of the right page.

Handwritten text in cursive script, continuing the notes or signature, located in the upper middle section of the right page.

Handwritten text in cursive script, continuing the notes or signature, located in the lower middle section of the right page.

Handwritten text in cursive script, including the word "Handwritten" in English, located in the middle section of the left page.

Handwritten text in cursive script, continuing the notes or signature, located in the lower middle section of the left page.

Handwritten text in cursive script, including the characters "偏の自叙" (Hien no Jisho), located at the bottom of the left page.

よるくはあつちいへ

きんこくしんせうしんせうしんせうしんせう

あつちいへ

しんせうしんせうしんせうしんせう

あつちいへ

しんせうしんせうしんせうしんせう

あつちいへ

しんせうしんせうしんせうしんせう

あつちいへ

あつちいへ

あつちいへ

あつちいへ

あつちいへ

あつちいへ

あつちいへ

あつちいへ

あつちいへ

あつちいへ

... ..

... ..
... ..
... ..
... ..

... ..

... ..
... ..
... ..
... ..

... ..

... ..

... ..

... ..

... ..

... ..

... ..

... ..

... ..

... ..

わすれなきこと

ふりかへておぼしめしむるは心ゆゑに
まはるるをうとむるは心ゆゑに

ちかぬきもくちかぬき

うらやまなきはきりさき
うらやまなきはきりさき

おぼしめしむるは心ゆゑに
まはるるをうとむるは心ゆゑに

ふりかへておぼしめしむるは心ゆゑに
まはるるをうとむるは心ゆゑに

しるし

はなはちわづらひのちかぬき
はなはちわづらひのちかぬき

うらやまなきはきりさき
うらやまなきはきりさき

ふりかへておぼしめしむるは心ゆゑに
まはるるをうとむるは心ゆゑに

うらやまなきはきりさき
うらやまなきはきりさき

ふりかへておぼしめしむるは心ゆゑに
まはるるをうとむるは心ゆゑに

あつたはらへ
たはらへ
たはらへ

あつたはらへ
たはらへ
たはらへ

あつたはらへ
たはらへ
たはらへ

あつたはらへ
たはらへ
たはらへ

あつたはらへ
たはらへ
たはらへ

あつたはらへ
たはらへ
たはらへ

あつたはらへ
たはらへ
たはらへ

あつたはらへ
たはらへ
たはらへ

そあちあちこころし
あちあちこころし

あちあちこころし

あちあちこころし

あちあちこころし
あちあちこころし

あちあちこころし

あちあちこころし
あちあちこころし

あちあちこころし
あちあちこころし
あちあちこころし

あちあちこころし

あちあちこころし

あちあちこころし

あちあちこころし

あつてはるあつてはる

あつてはるあつてはる

あつてはるあつてはる

あつてはるあつてはる

あつてはるあつてはる

あつてはるあつてはる

あつてはるあつてはる

あつてはるあつてはる

あつてはるあつてはる

あつてはるあつてはる

あつてはるあつてはる

あつてはるあつてはる

あつてはるあつてはる

あつてはるあつてはる

あつてはるあつてはる

あつてはるあつてはる

あつてはるあつてはる

あつてはるあつてはる

カ下出く花きんりん

中のおうこ 田原よりくるり

いとおうこ 田原のこ

のらうこすら 田原のこ

えらうこらうこ 田原のこ

らうこらうこ

らうこらうこ

らうこらうこ

おつこらうこ 田原のこ

おつこらうこ 田原のこ
らうこらうこ 田原のこ
らうこらうこ 田原のこ
らうこらうこ 田原のこ

らうこらうこ

らうこらうこ

らうこらうこ

らうこらうこ

らうこらうこ

Handwritten text in cursive script, likely a list or notes. The text is written vertically on the left page of the notebook. It consists of several lines of text, some starting with a small symbol or character. The script is fluid and characteristic of early modern European cursive.

Handwritten text in cursive script, continuing from the previous page. The text is written vertically on the right page of the notebook. It consists of several lines of text, some starting with a small symbol or character. The script is fluid and characteristic of early modern European cursive.

心は

あつち
の交々^{あつち}

あつち
あつち

あつち

あつち

あつち

あつち

あつち

あつち

Handwritten text in a cursive script, likely a personal letter or diary entry. The text is written in dark ink on aged, yellowish paper. It consists of several lines of text, with some words appearing to be "Dear", "I", "am", "writing", "to", "you", "because", "I", "want", "to", "tell", "you", "about", "my", "life", "and", "the", "things", "I", "am", "doing", "at", "the", "moment".

Handwritten text in a cursive script, continuing the message from the previous page. The text is written in dark ink on aged, yellowish paper. It consists of several lines of text, with some words appearing to be "I", "am", "so", "glad", "to", "hear", "from", "you", "and", "I", "hope", "you", "are", "well", "and", "happy".

(一) 備に也 女 花の 花の 花の
花の 花の 花の 花の
花の 花の 花の 花の

花の 花の 花の 花の
花の 花の 花の 花の
花の 花の 花の 花の
花の 花の 花の 花の
花の 花の 花の 花の
花の 花の 花の 花の

花の 花の 花の 花の
花の 花の 花の 花の

花の 花の 花の 花の
花の 花の 花の 花の
花の 花の 花の 花の
花の 花の 花の 花の
花の 花の 花の 花の
花の 花の 花の 花の
花の 花の 花の 花の

とくらの一丁に及ぶるは、
あつた

ちよん
あつた

さつた

とくらの一丁に及ぶるは、

あつた

とくらの一丁に及ぶるは、

あつた

とくらの一丁に及ぶるは、

あつた

とくらの一丁に及ぶるは、

いふことわりなきことあるを

おぼやかしきことあるを

暫し^{ガキ}おぼやかしきこと

さしおぼやかしきこと

おぼやかしきこと

うらみおぼやかしきこと

おぼやかしきこと

おぼやかしきこと

おぼやかしきこと

おぼやかしきこと

おぼやかしきこと

おぼやかしきこと

おぼやかしきこと

おぼやかしきこと

おぼやかしきこと

おぼやかしきこと

おぼやかしきこと

ちんちん 中からいりて 1941-1942
せんせん せんせん せんせん せんせん

せんせん せんせん

せんせん せんせん せんせん 三年

せんせん せんせん せんせん せんせん

せんせん せんせん

せんせん せんせん せんせん せんせん

せんせん

せんせん せんせん せんせん せんせん

せんせん せんせん せんせん せんせん

せんせん せんせん

せんせん せんせん

せんせん せんせん せんせん せんせん

せんせん

せんせん せんせん せんせん

せんせん せんせん せんせん せんせん

せんせん

あはれなる御心

よき御心にて御心

の御心にて御心

よき御心にて御心

よき御心にて御心

よき御心にて御心

よき御心にて御心

よき御心

あはれなる御心

あはれなる御心

あはれなる御心

あはれなる御心

あはれなる御心

あはれなる御心

あはれなる御心

あはれなる御心

あはれなる御心

あはれなる御心

二回もあつたにせう

あつたにせう (2)

あつたにせう (1)

あつたにせう (1)

あつたにせう (1)

あつたにせう (1)

あつたにせう (1)

あつたにせう (1)

あつたにせう (1)

あつたにせう (1)

あつたにせう (1)

あつたにせう (1)

あつたにせう (1)

あつたにせう (1)

あつたにせう (1)

あつたにせう (1)

あつたにせう (1)

あつたにせう (1)

又ニテハ乃アヤシクモテハ
一筆の文 花ちるさあち

ニ本下ニクニとモテハ

モテハ 夕暮りの言のつらき

ニテモテハ 夕暮りの言のつらき

夕暮りの言のつらき

夕暮りの言のつらき

夕暮りの言のつらき

流乃 夕暮りの言のつらき

夕暮りの言のつらき

夕暮りの言のつらき

夕暮りの言のつらき

夕暮りの言のつらき

夕暮りの言のつらき

夕暮りの言のつらき

夕暮りの言のつらき

夕暮りの言のつらき

夕暮りの言のつらき

たきつておのりきりて
海のきりておのり

たきつておのりきりて

たきつておのりきりて

たきつておのりきりて

たきつておのりきりて

たきつておのりきりて

たきつておのりきりて

たきつておのりきりて

たきつておのりきりて

たきつておのりきりて

たきつておのりきりて

たきつておのりきりて

たきつておのりきりて

たきつておのりきりて

たきつておのりきりて

たきつておのりきりて

たきつておのりきりて

あまのこ

あまのこ　あまのこ

あまのこ　あまのこ　あまのこ

あまのこ　あまのこ　あまのこ

あまのこ　あまのこ　あまのこ

あまのこ　あまのこ　あまのこ

あまのこ　あまのこ　あまのこ

あまのこ　あまのこ　あまのこ

あまのこ　あまのこ　あまのこ

あまのこ　あまのこ　あまのこ

あまのこ

あまのこ　あまのこ　あまのこ

あまのこ　あまのこ　あまのこ

あまのこ　あまのこ　あまのこ

あまのこ　あまのこ　あまのこ

あまのこ　あまのこ　あまのこ

あまのこ　あまのこ　あまのこ

あまのこ　あまのこ　あまのこ

いかにあはれなるか
— かくかくにやうな
よ

あはれなるか
— かくかくにやうな
よ

あはれなるか

あはれなるか

あはれなるか

あはれなるか

あはれなるか

あはれなるか

あはれなるか

あはれなるか

あはれなるか

あはれなるか

あはれなるか

あはれなるか

あはれなるか

きんぎょのしんがたのまはら

あはれいふまはらあはれいふまはら

あはれいふまはらあはれいふまはら

あはれいふまはらあはれいふまはら

あはれいふまはらあはれいふまはら

あはれいふまはらあはれいふまはら

あはれいふまはらあはれいふまはら

あはれいふまはらあはれいふまはら

あはれいふまはらあはれいふまはら

あはれいふまはらあはれいふまはら

あはれいふまはらあはれいふまはら

あはれいふまはらあはれいふまはら

あはれいふまはらあはれいふまはら

あはれいふまはらあはれいふまはら

あはれいふまはらあはれいふまはら

あはれいふまはらあはれいふまはら

あはれいふまはらあはれいふまはら

あはれいふまはらあはれいふまはら

さあさあさあさあさあさあさあさあさあ

あさあさあさあさあさあさあさあさあ

あさあさあ

さあさあさあさあさあさあさあさあ

あさあさあさあさあさあさあさあさあ

さあさあさあさあさあさあさあさあ

あさあさあさあさあさあさあさあさあ

さあさあさあさあさあさあさあさあ

あさあさあ

さあさあさあさあさあさあさあさあ

あさあさあさあさあさあさあさあさあ

あさあさあ

さあさあさあさあさあさあさあさあ

あさあさあさあさあさあさあさあさあ

あさあさあ

さあさあさあさあさあさあさあさあ

あさあさあさあさあさあさあさあさあ

さあさあさあさあさあさあさあさあ

うきうき　しんが　しんが　しんが　しんが
ひんが　しんが　しんが　しんが　しんが
しんが　しんが　しんが　しんが　しんが

うきうき　しんが　しんが　しんが　しんが
ひんが　しんが　しんが　しんが　しんが
しんが　しんが　しんが　しんが　しんが

うきうき　しんが　しんが　しんが　しんが
ひんが　しんが　しんが　しんが　しんが
しんが　しんが　しんが　しんが　しんが





